

定置用燃料電池大規模実証事業

家庭用燃料電池に関する意識調査結果

家庭用燃料電池を使用されている方の意識に関するアンケート調査

2008年3月

(財)新エネルギー財団
計画本部 燃料電池部

無断転載を禁じます

1. 調査概要

目的

本事業で家庭用燃料電池を設置し、実際にお使いいただいている方に対して、家庭用燃料電池の使用面の感想や評価等をアンケート方式で回答いただき、今後の普及促進の一助とします。

方法

各設置者への郵送調査

(本事業に参画している実施者(エネルギー供給会社)が発信・回収)

対象

H17年度第1期、第2期、H18年度交付の全1257サイト(全サイト)

期間

平成19年10月1日～10月31日

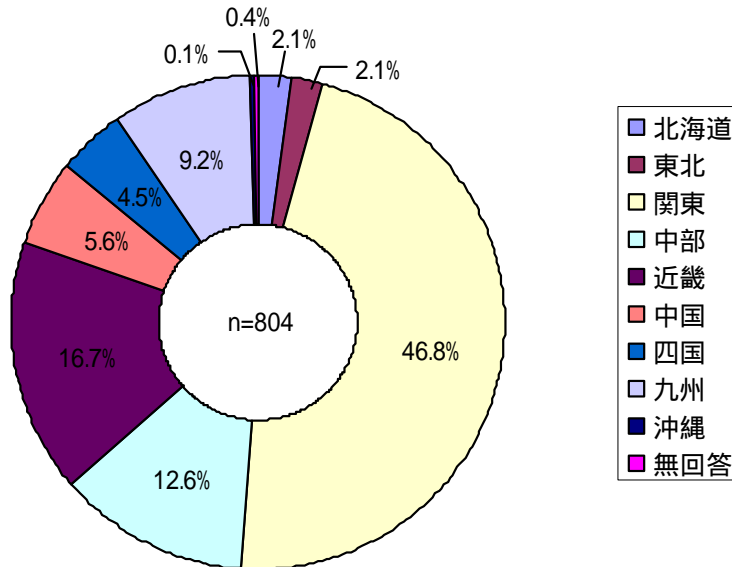
回収率

回収率 64% (804票回収)

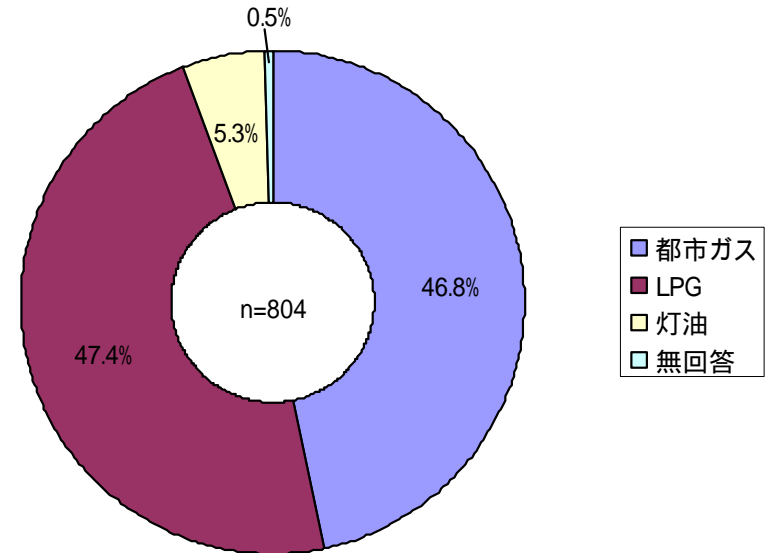
2. アンケート結果

回答者像(1)

設置されている 地域の分布



家庭用燃料電池の 燃料の種類

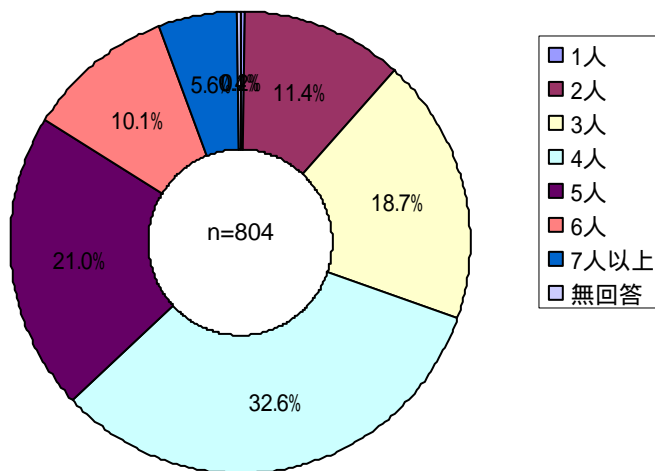


関東、近畿、中部地域の回答者が今回は多数を占めます。また回答いただいた家庭用燃料電池の燃料は、LPG47.4%、都市ガス46.8%、灯油5.3%でした。

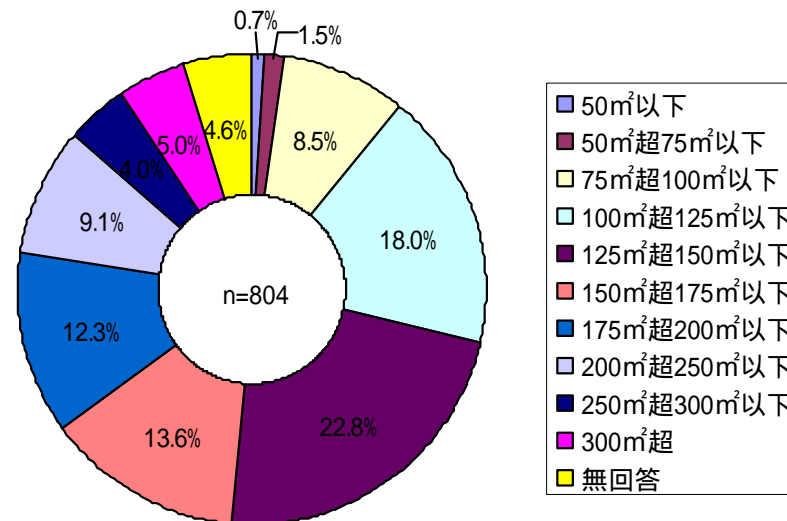
2. アンケート結果

回答者像(2)

家族の人数



住居面積 (m²)



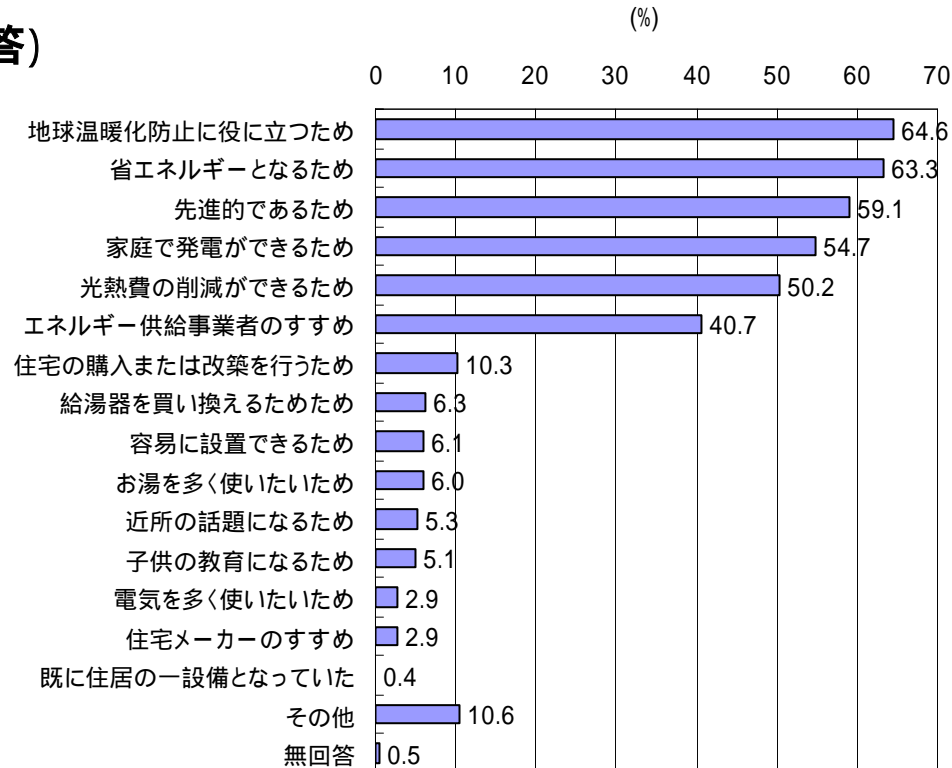
家族人数の構成は、3人から5人の世帯が70%以上占めるが、1人世帯のところもあり、7人以上の世帯も5%程度ありました。(今回ご回答いただいた1家族の世帯人数は、平均で4.2人。)また、住居面積も50m²以下の家庭から300m²超の家庭まで様々でした。このように幅広い範囲の家庭に燃料電池が設置され、運転されました。

2. アンケート結果

設置の理由

設置の理由

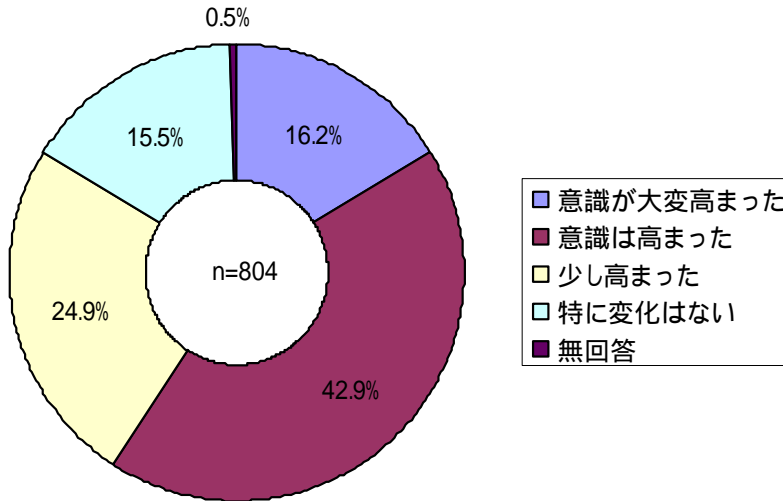
(複数回答)



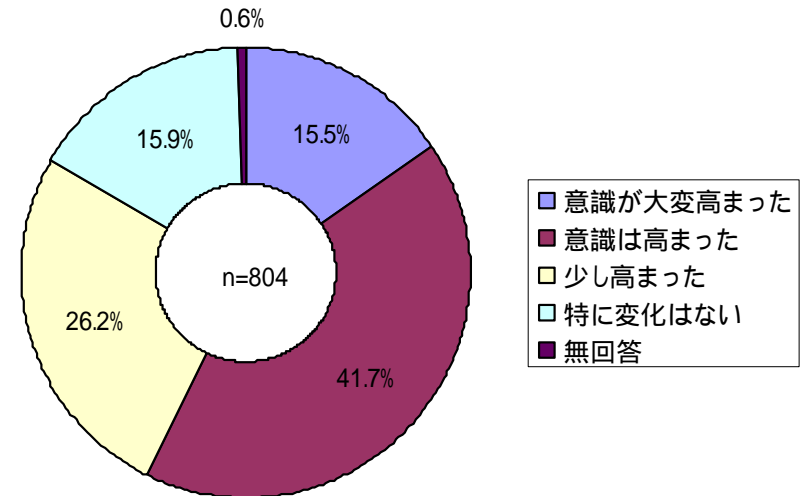
設置の理由として、「地球温暖化防止に役に立つため」「省エネルギーとなるため」「先進的であるため」が上位3位を占めています。

意識の変化について

省エネルギーに関して



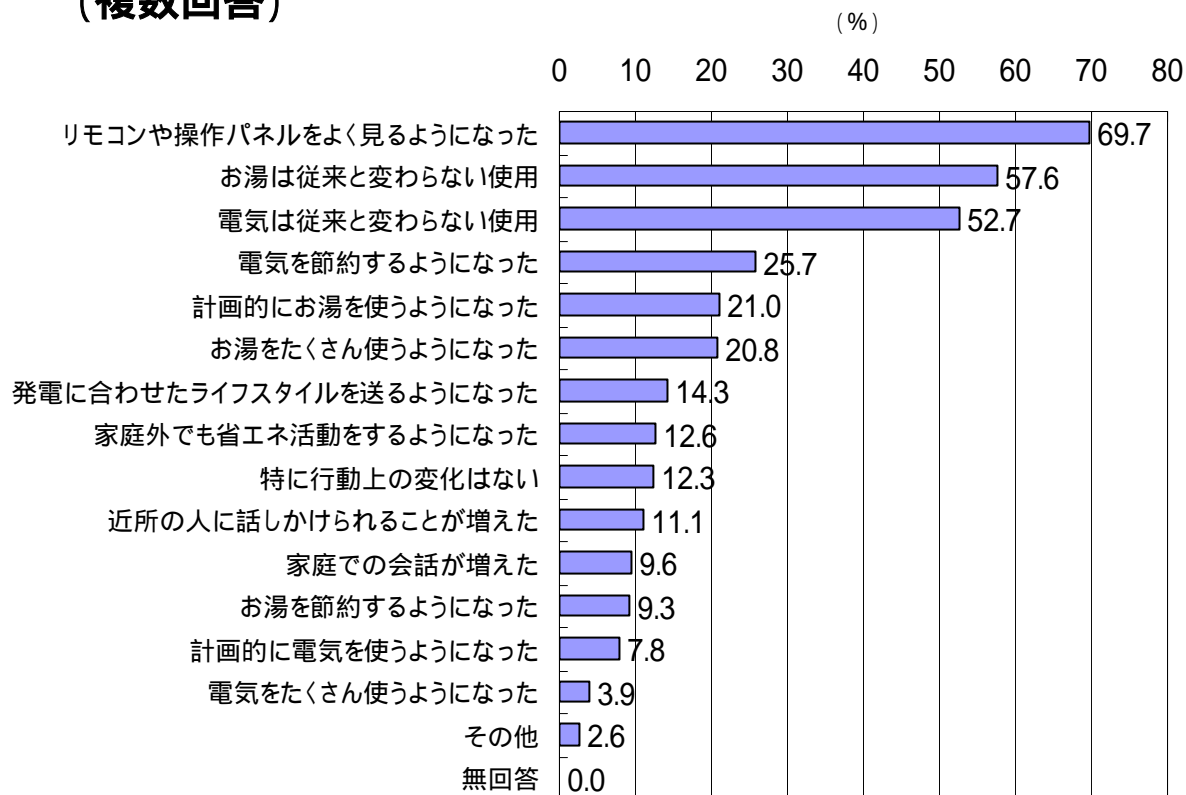
地球温暖化防止に関して



燃料電池使用後の意識の変化を、省エネルギー性(一次エネルギー使用量削減)と地球温暖化防止(CO2ガス排出削減)の面で回答していただきました。両評価項目とも「意識が大変高まった」「意識は高まった」の回答が6割程度であり、「少し高まった」までを含めると8割以上の回答となりました。

行動の変化について

(複数回答)



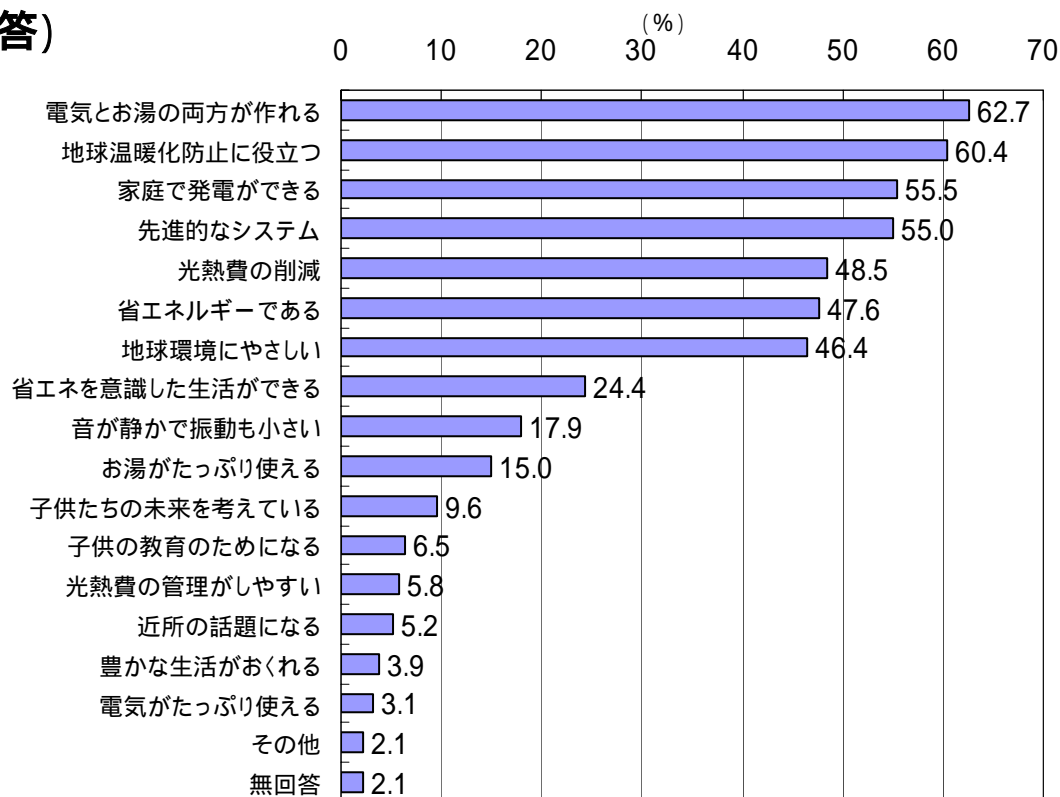
家庭用燃料電池使用後の行動の変化の特徴として、「リモコンや操作パネルをよく見るようになった」が最も多く69.7%の回答がありました。

2. アンケート結果

使用した感想(3)

最大の魅力

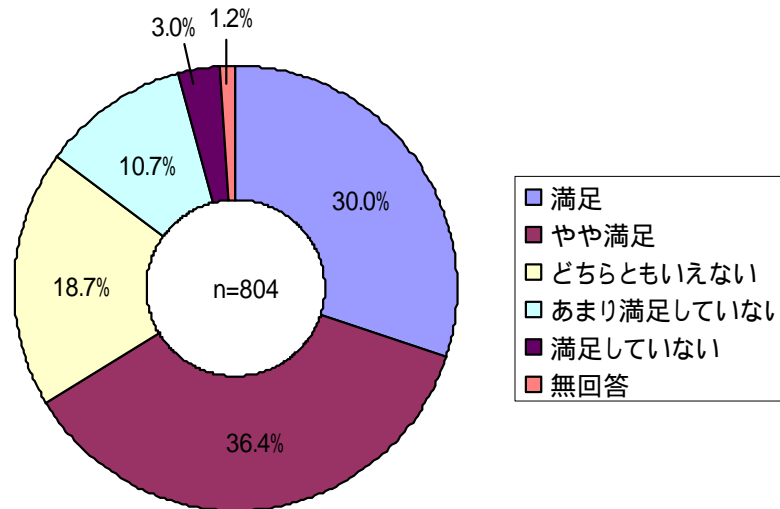
(複数回答)



家庭用燃料電池を使用して最大の魅力と思われるものについて伺ったところ、「電気とお湯の両方が作れる」「地球温暖化防止に役立つ」という回答の次に、「家庭で発電できる」ことに魅力を感じている方が、55.5%いました。

「家庭用燃料電池」の運転性能面について

運転性能面に関する、現状の満足度



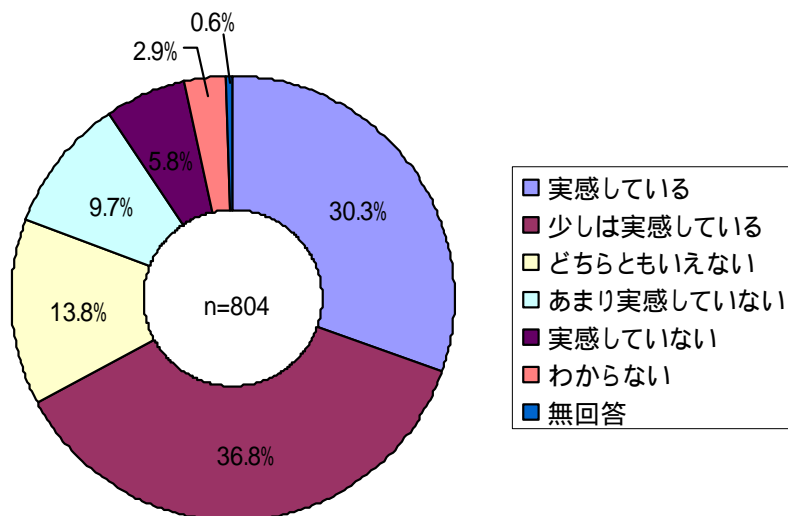
家庭用燃料電池の運転性能面(「省エネルギー性」「地球温暖化防止」等)に関する、現状の満足度は、66.4%の方に高い評価となりました。

2. アンケート結果

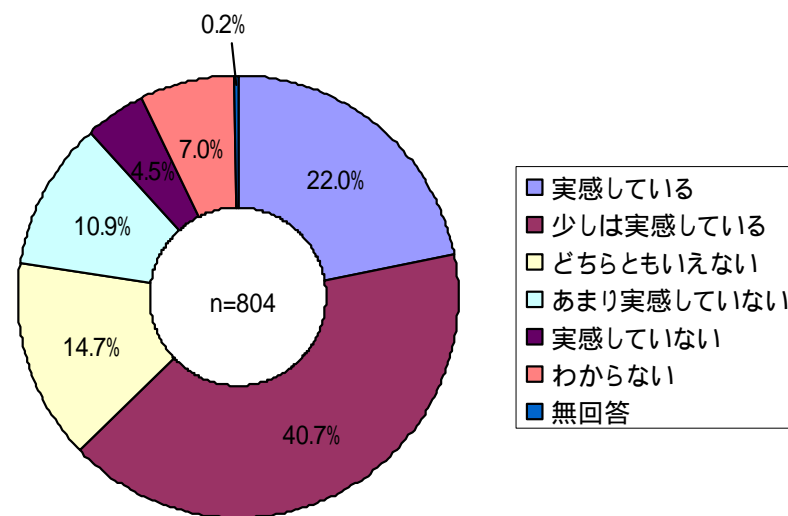
使用した感想(5)

「家庭用燃料電池」の運転性能面について

省エネルギー性について



地球温暖化防止について



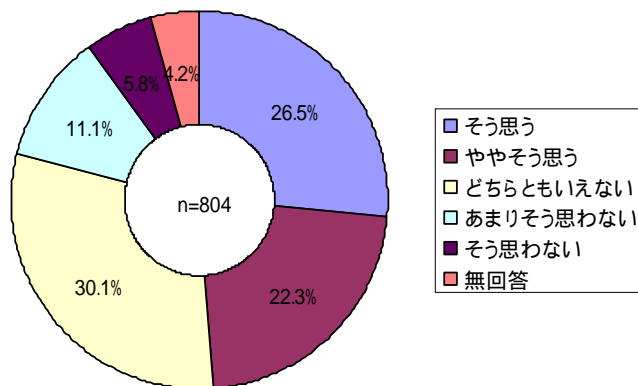
この燃料電池の運転性能の面を、省エネルギー性(一次エネルギー使用量削減)、地球温暖化防止(CO2ガス排出削減)の項目で評価すると、「実感している」「少しは実感している」の回答が60%以上でした。

2. アンケート結果

使用した感想(7)

「家庭用燃料電池」の運転性能面について

家庭用燃料電池を勧めたいと思うか

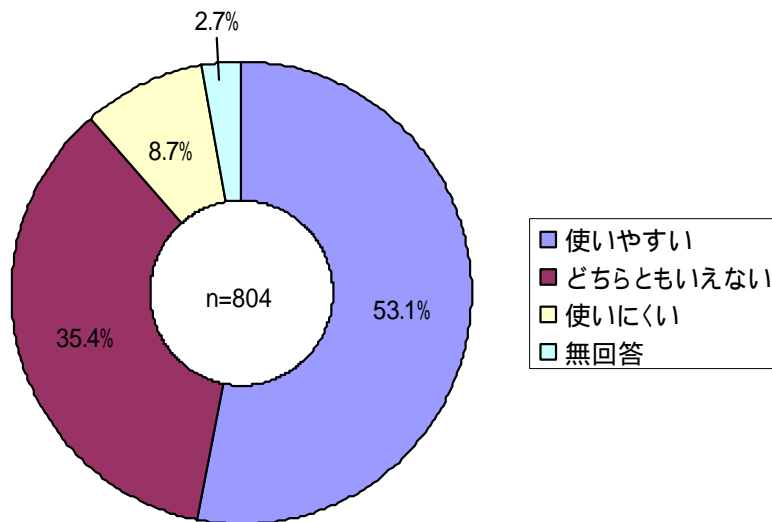


no.	勧めたい点 (自由意見を集約して記載)	記入数 (n)
1	地球環境にやさしい・よい, エコ, 環境性, 環境負荷の低減	92
2	省エネルギーである, エネルギーを有効に利用している	87
3	光熱費の削減	73
4	地球温暖化防止に役立つ, CO2削減に貢献している	62
5	家庭で発電ができる	50
6	電気とお湯の両方が作れる	36
7	先進的なシステム, 先進性, 先進技術	24

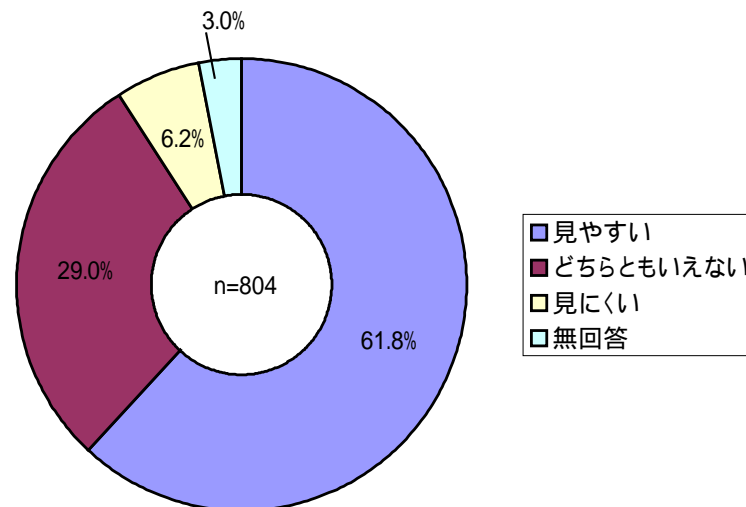
家庭用燃料電池の運転性能面を通じて、家庭用燃料電池を勧めたいと思うかをおたずねしたところ、「そう思う」「ややそう思う」が合わせて48.8%で、「どちらともいえない」が30.1%でした。

リモコン(操作パネル)について

リモコンの使いやすさについて



リモコンの見やすさについて



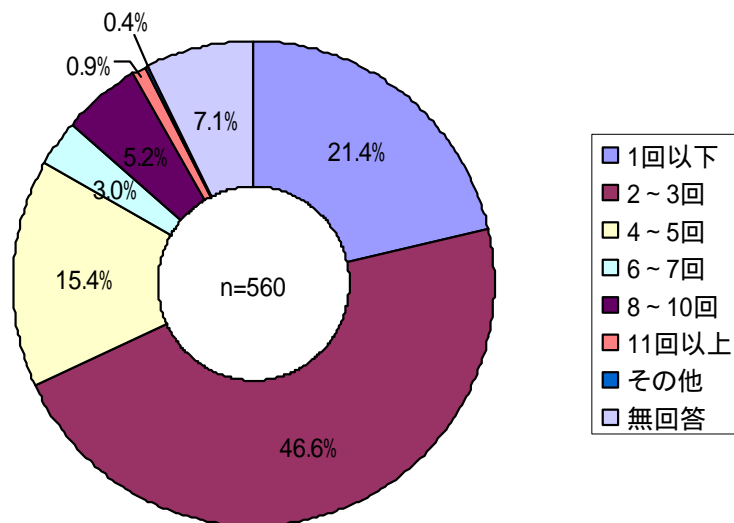
リモコン(操作パネル)の“使いやすさ”と“見やすさ”についてお聞きしたところ、いずれの項目とも「使いやすい」「見やすい」の回答が50%以上となりました。家庭用燃料電池を毎日使用している人との接点であるリモコンの使いやすさは、家庭用燃料電池システム(機器)の使いやすさ(親しみやすさ)と結びついているものと思われます。

2. アンケート結果

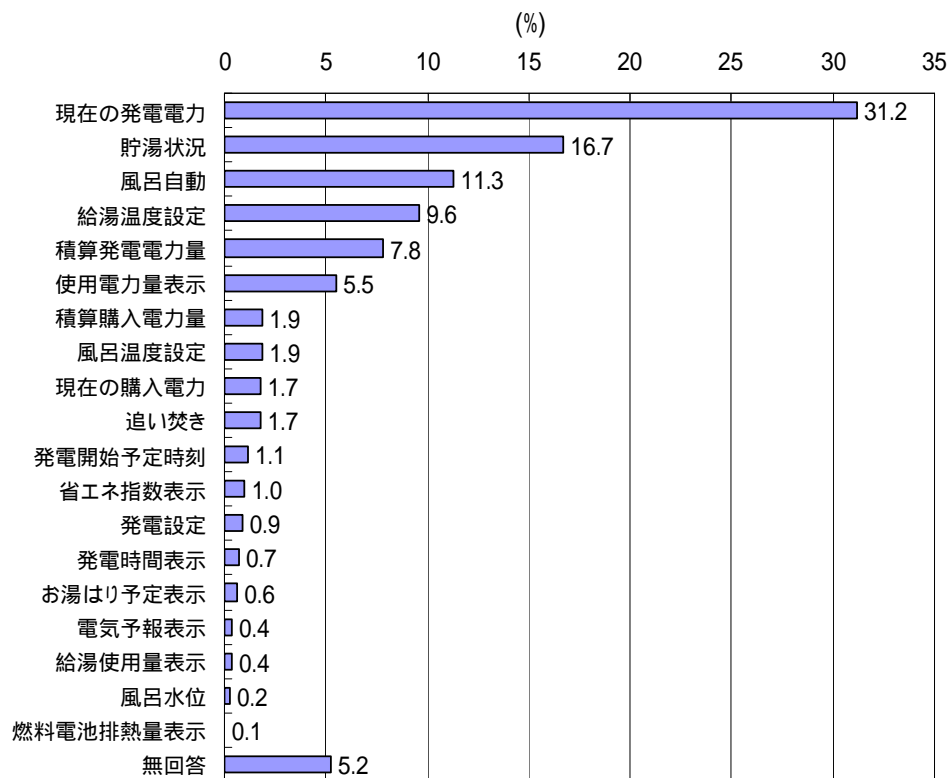
実用面について(2)

リモコン(操作パネル)について

リモコンや操作パネルを見る回数(回/日)



よく使ったり見たりする機能 (よく使う1位)



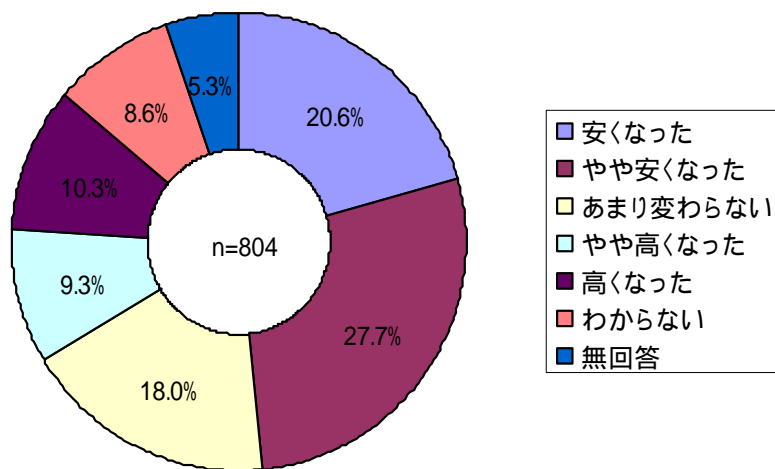
リモコン(操作パネル)を1日に見る回数を尋ねたところ、1回以下の回答が21%程度ありましたが、「2~3回」「4~5回」を合わせた回答は60%以上でした。また、よく使ったり見たりする機能では、「現在の発電電力」が最も多く、次に「貯湯状況」となっていることから、家庭で電気とお湯を作ることに對する興味の高さが伺えます。

2. アンケート結果

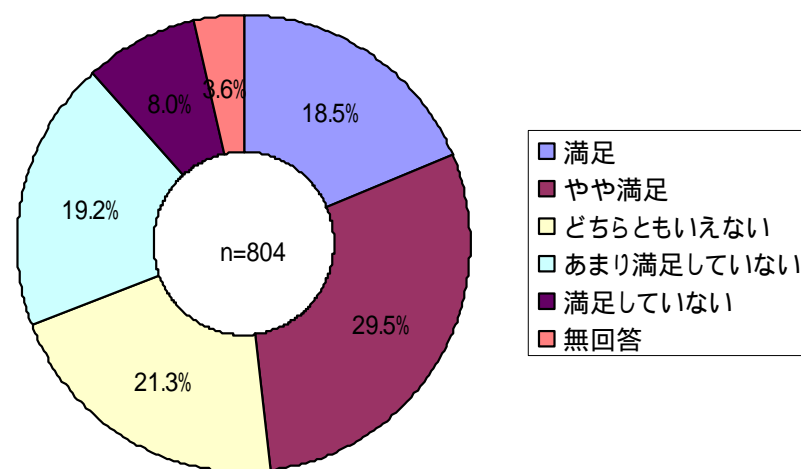
実用面について(3)

経済性について

設置後の光熱費について



設置後の光熱費について、現状の満足度

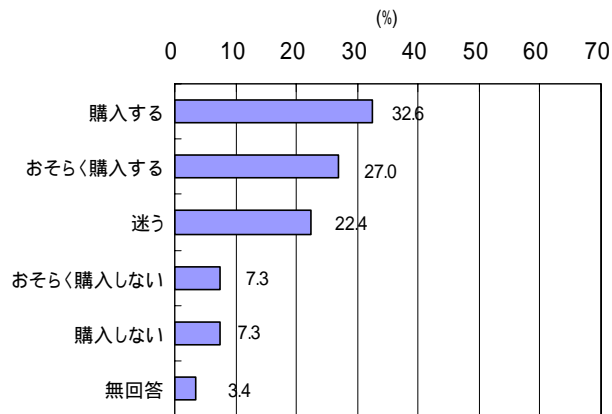


燃料電池設置後の電気料金と燃料料金(ガス料金等)を合わせた光熱費については、「安くなった」「やや安くなった」と回答した方が約半数ほどでした。また、これの満足度に関して伺ったところ、ほぼ同等の比率で「満足」「やや満足」の回答がありました。

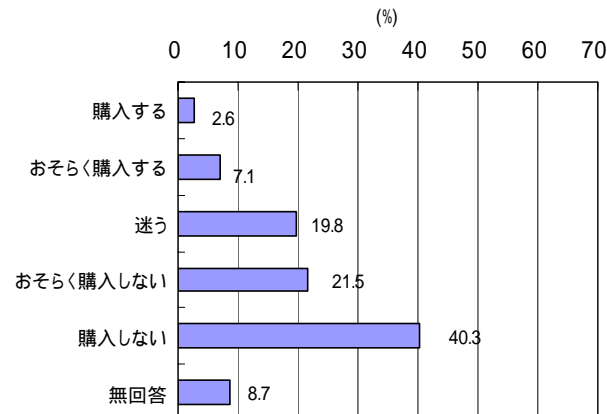
2. アンケート結果

実用面について(4)

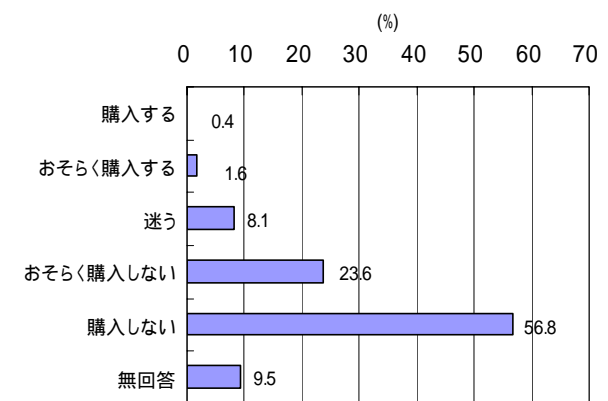
購入価格について(選択方式) n=804



60万円



120万円

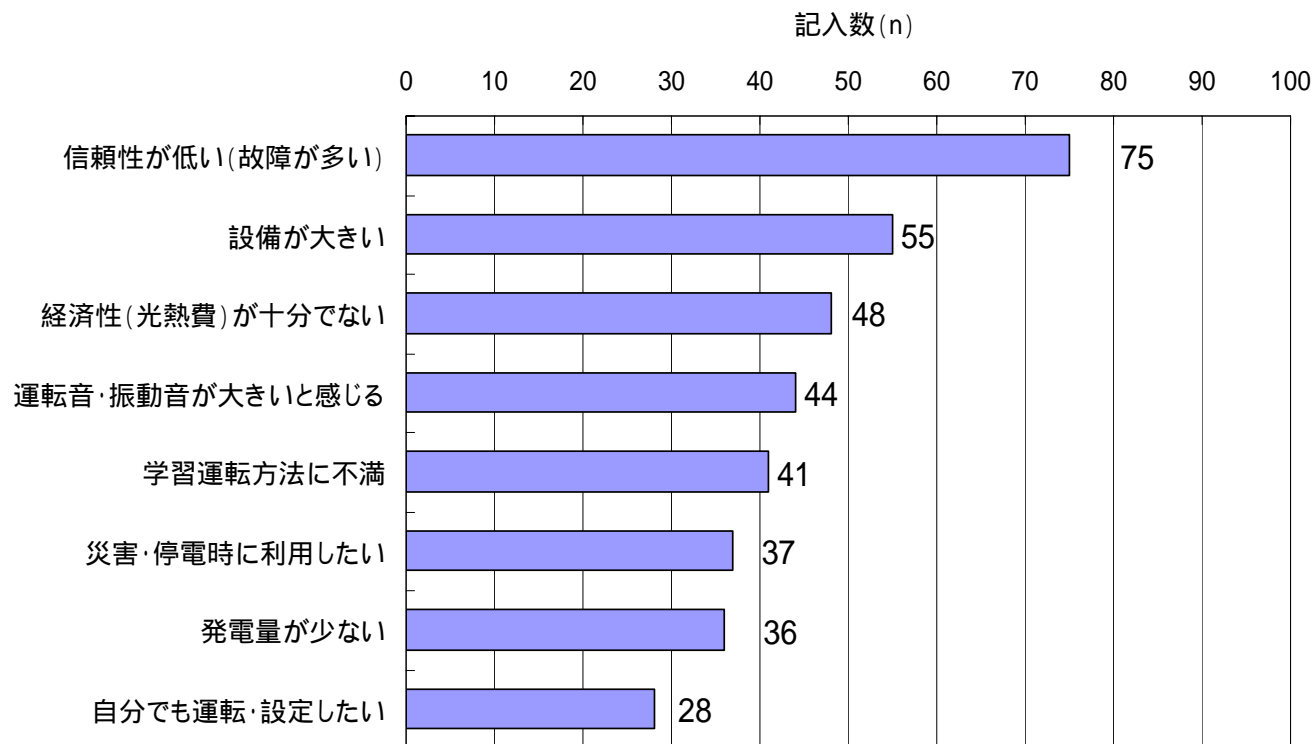


180万円

今後新たに、家庭用燃料電池の購入を検討する場合について、3つの価格(180万円、120万円、60万円)の選択肢を設け、それぞれの価格について購入のご意向を回答してもらいました。

180万円、120万円では「購入しない」が最も多かったですが、60万円の場合では「購入する」が最も多く、「おそらく購入する」までを含めると6割近い回答結果となりました。

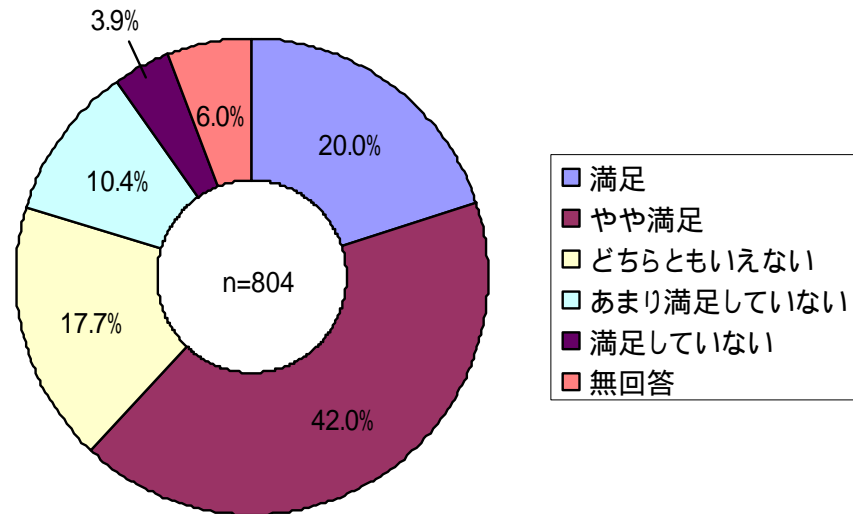
不満な点 改善すべき点 について(自由記述方式)



家庭用燃料電池に対する 不満な点 改善してもらいたい点については、「信頼性が低い(故障が多い)」「設備が大きい」「経済性(光熱費)が十分でない」が挙げられていますが、これらについては、現在 メーカーやエネルギー会社等において検討や改善が進められています。

3.まとめ

総合満足度について



全体の6割以上の方は、家庭用燃料電池を実際に使用して、良好な使用感の評価をしています。

良好な評価となった背景は、「省エネルギー性」、「地球温暖化防止」や「経済性」に対する実感の反映とともに「家庭で発電ができる」ことに対する満足度があげられます。